

令和元年度 国立教育政策研究所 教育課程研究指定校事業 研究紀要

地域社会との連携事業を通して主体的・協働的に学習に取り組むことによって、学びに向かう力や人間性を磨き、自己有用感や「思考力、判断力、表現力」等を育成し高める題材の開発と指導方法の工夫

都道府県名：新潟県

学校名：新潟県立豊栄高等学校

校種：高等学校

教科・科目名：芸術・美術

研究者：教諭 片桐泰紀

目次

豊栄高等学校の概要	3
令和元年度の研究課題	4
研究体制	5
研究内容①	6
研究内容②	11
アンケート結果	13
令和元年～2年の研究結果・課題	17
謝辞	18

本校の概要

教育目標

創設期の開拓(新墾(にひばり))精神を受け継ぎ, 知育・徳育・体育の活動を通して個性を伸長し, 進んで社会に貢献することのできる人間を育てる。

生徒数 239人(令和元年5月)

1・2年生3クラス, 3年生4クラスの計10クラス

全日制 普通科

2年次からコース制

普通科目 + コース科目 (2年より)

週 8 h ~ 15 h
(授業 31 h)

文理、芸術、スポーツの3コース

本校芸術選択の単位数



1年 芸術Ⅰ 2単位選択必修



2年

芸術コース

- 芸術Ⅱ 6単位
- ソルフェージュ, 素描, 探求書道(学校設定) 2単位 計8単位



3年

芸術コース

- 芸術Ⅲ 6単位 情報メディアデザイン 2単位 計8単位

文理コース

- 芸術Ⅱ 2単位

令和元年度の研究課題

地域社会との連携事業を通して主体的・協働的に学習に取り組むことによって、学びに向かう力や人間性を磨き、自己有用感や「思考力、判断力、表現力」等を育成し高める題材の開発と指導方法の研究

研究結果のポイント

○美術を通した地域社会との連携事業を活用した指導の工夫

○課題制作や発表を通して、「思考力、判断力、表現力」等を育成し、自己有用感を高める評価・指導の工夫

(1) 研究主題

地域社会との連携事業を通して主体的・協働的に学習に取り組むことによって、学びに向かう力や人間性を磨き、「思考力、判断力、表現力」等を育成し、自己有用感を高める題材の開発と指導方法の研究

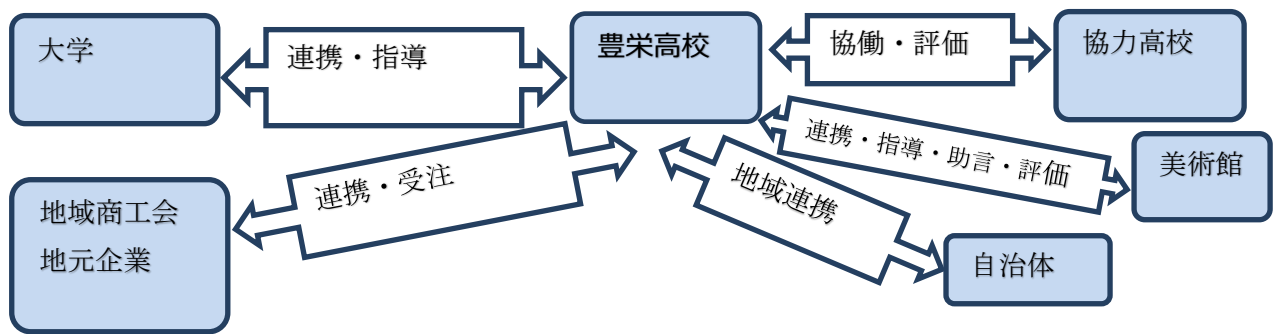
研究主題設定の理由

本校の生徒の進路は地元志向が強く、能力はあるものの新たなことにチャレンジするきっかけをもてずにいる生徒が多い。

美術を通した地域社会との連携事業を活用した指導の工夫の中においてグループワークで取り組む機会を重視し、協働で学ぶ経験を通して、主体性を高める指導の充実を図った。

課題への取組・発表を通して、指導や評価の工夫を行い、美術において育成すべき資質・能力を身に付け、課題の中で依頼者の視点に立って成果を上げることにより思考力、判断力、表現力等を育成し、自己有用感を高める授業づくりを充実させようとした。

研究体制



1年目の主な取組

令和元年度

- 【5月】地域連携事業の課題実施のためのチーム作り・作業
- 【6月】校内及び商工会へのプレゼンテーション
- 【7, 8月】修正作業, 先進校視察 (東京学芸大学附属高等学校)
新潟県美術教育研究大会・下越大会2019 地域連携事業について誌面発表
- 【9月】課題の評価
- 【10月】地域イベントで地域連携事業課題成果発表, 公開授業
- 【11月】東京学芸大学附属高等学校 第18回公開教育研究大会に参加
- 【12月】保育園実習1, 地域連携事業課題についてのアンケート
- 【1月】保育園実習2, 生徒への意識調査・検証
- 【2月】研究協議会中間報告
- 【3月】次年度実践計画書作成

研究内容①

美術を通じた
地域社会との
連携事業を活
用した指導の
工夫

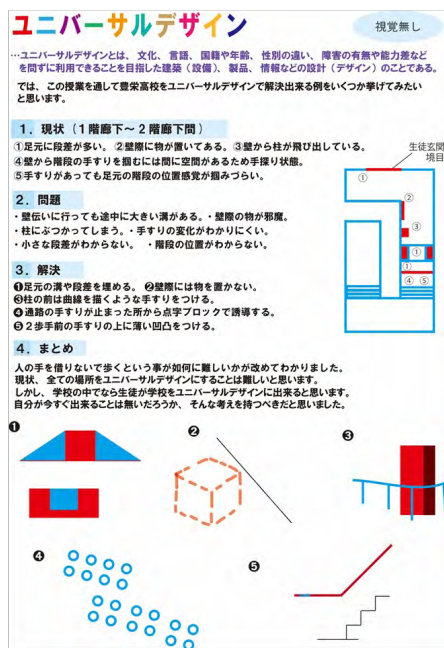
グループワークで取り組む機会を重視し、
協働で学ぶ経験を通して主体性を高める
指導の充実

令和元年度、美術Ⅲで地域のイベントの『岡
方むら祭り』と『鍋の陣』の広報に取り組む
前に、校内表示のユニバーサルデザインや美
術Ⅱで昨年度の3年生が受注したワイナリー
の広報について補助役を取り組ませ、協働作
業の実践経験を積ませた。また、地域からの
課題に複数の班で当たらせ、互いの成果を相
互評価させながら作業を進めることで客観性
が高まり、作品の質が向上した。

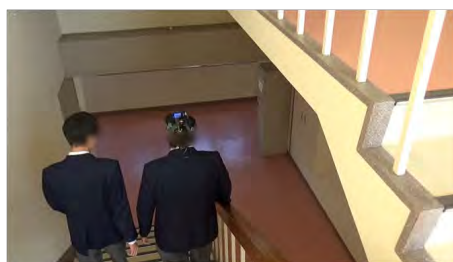
ユニバーサル
デザインを学
び他者の視点
・ニーズに気
付く



他者の視点
・ニーズに気
付くことは
客観的な視点
の獲得に向けた
準備段階



アクションカメラ+ジンバルを装着して
ブラインドウォークを行い撮影された映像を
視聴して接触誘導と音声誘導の違い、避難所
としての校舎の問題点を考察する



ブラインドウォークの感想(例)

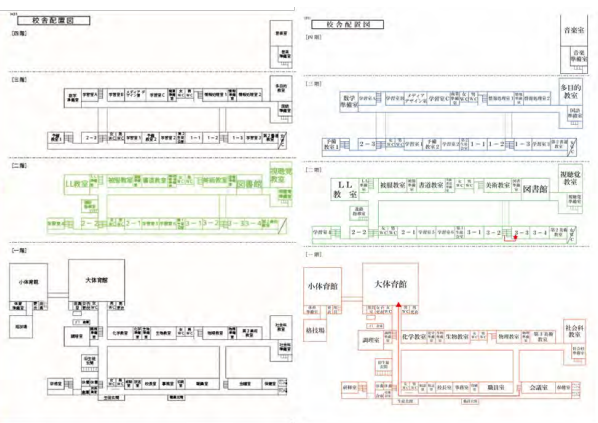
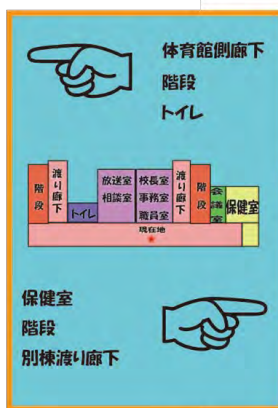
(接触誘導) 前に人がいると前にいる人は障害物を避けて歩くからぶつかる心配はほとんどないけど声だけだと指
示が本当なのか分からなかった。手すりの位置など細かい指示を出すのが大変だった。

(音声誘導) 接触誘導の時はどこに進めばいいかわかるけど周りの情報はわからない。でも音声の時は周りの情
報はわかるけどどこに進めばいいかわからないしちゃんとまっすぐに進んでいるかわからない。音声ガイドをして
いるときはどのように言えばその本人がわかるか考えないといけなかったのが大変だった。

ユニバーサルデザインを取り入れた校内表示を階や棟別に班を割り当てて作成



校舎全体の色彩計画も検討して表示計画を作成



社会のデザインに対する
ニーズを学ぶ

カーブドッチ
ワインフェスタキービジュアル
の作成



要求されているデザイ
ンのバックグラウンド
を知る

作品制作のための会社見学



地域連携課題について、美大の
先生から班で指導を受ける

高大連携



班ごとに地域連携課題の
まとめを発表する練習

グループワーク

客観的な視点に立った課題制作を通して、「思考力，判断力，表現力」等を育成する指導の工夫

班の代表が 商工会に地域 イベントポス ター原案を提案

常に客観的な視点に立ち、依頼者の要望に立ち返らせることで「思考力，判断力，表現力等」の育成を目指した。その過程で修正の指示が出ることで新たな視点に気づき工数が増加する場合もあったが，結果としてデザインの機能や効果，表現形式の特性などについて考えるようになり，表現する力が高まった。



岡方むら祭り広報



地域イベント広報に求められる要素を考察し班ごとに複数案を提案

鍋の陣広報

豊栄商工会サービス業部会が贈る! 共催 新潟市 協賛 豊栄軽飲食業組合 豊栄鮮魚仕出業組合 新潟市食品衛生協会豊栄支部

鍋の陣

お問い合わせ 豊栄商工会 (TEL 025-387-2264)

2019.10.16(水) 16:30~18:30
JR 豊栄駅南口エスカレーター前広場

鍋メニュー

- 魚団子鍋
- キムチ鍋

1杯200円以上のご協力金をお願いします。
※協力金の一部を社会福祉協議会へ寄付いたします。

イベント

- ・チアダンス、ヒップホップ 17:15(予定) (ハビスカ Twinkle stars)
- ・マーチングバンド 17:50(予定) (ハビスカ FANKY STAR)
- ・Winter イルミネーション点灯式 18:00 (ジュニアマーチングバンドとよさか)

・商工会青年部が贈る!

10月17日(木)

16:30~18:30
JR 豊栄南口エスカレーター前

鍋の陣

イベント

- ・チアダンス・ヒップホップ 17:15(予定)
- ・ハビスカ Twinkle stars (ハビスカ FANKY STAR)
- ・マーチングバンド 17:50(予定)
- ・ジュニアマーチングバンドとよさか
- ・Winter イルミネーション点灯式 18:00

メニュー

- ・魚団子鍋
- ・キムチ鍋

2019.10.17(木)

第19回 鍋の陣

16:30~18:30
JR 豊栄南口エスカレーター前

イベント内容

- ・チアダンス・ヒップホップ 17:15(予定) (魚団子鍋・キムチ鍋)
- ・ハビスカ Twinkle stars (ハビスカ FANKY STAR)
- ・マーチングバンド 17:50(予定)
- ・ジュニアマーチングバンドとよさか
- ・Winter イルミネーション点灯式 18:00

メニュー

- ・魚団子鍋
- ・キムチ鍋

第19回 2019 10月17日(木) 16:30~18:30
JR 豊栄南口 エスカレーター前

鍋の陣

メニュー

- ・魚団子鍋
- ・キムチ鍋

イベント

- ・チアダンス・ヒップホップ 17:15(予定)
- ・ハビスカ Twinkle stars (ハビスカ FANKY STAR)
- ・マーチングバンド 17:50(予定)
- ・ジュニアマーチングバンドとよさか
- ・Winter イルミネーション点灯式 18:00

月曜日 第19回

00:00:00:00
JR 豊栄南口 エスカレーター前

鍋の陣

イベント

- ・チアダンス・ヒップホップ 17:15(予定)
- ・ハビスカ Twinkle stars (ハビスカ FANKY STAR)
- ・マーチングバンド 17:50(予定)
- ・ジュニアマーチングバンドとよさか
- ・Winter イルミネーション点灯式 18:00

メニュー

- ・魚団子鍋
- ・キムチ鍋

複数案の提案に際し狙い、伝えたいこと等を各案担当者が説明できるようにしておく。

デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考えるようになった。うになり表現する力が高まった。

ピンコ抽選会

第16回 田方むら祭り

ヨーヨー射的

フリーマーケット

ステージイベント

石ころの手形押し

岡方食の陣

2019年 10月6日(日)

開催 午前10:00~午後15:00
会場 岡方コミュニティセンター

第13回 祝 岡方むら祭り

10月2日(日) AM10:00~PM3:00

イベント内容

- 親子体験型イベント 10:00~ 石首の手形押し、射的、ヨーヨー射的、スーパースターズなど
- 岡方食の陣 11:00~ 焼きそば、焼き魚、わんあめ、生ビール、ソフトドリンク各種 など
- ステージイベント 10:00~ 神楽、民謡、踊り、フラダンス、ヒップホップ など (地元小学校の児童や地域の若者が出演いたします。)
- ※北区内 北区出身 演歌歌手 椿ひとみさん 出演決定!!

豪華景品ゲット! 大抽選会 今年もやります!! 多数の景品をご用意してあなたの夢を叶えます。

特産品大集合 10:00~ フリーマーケット・特産品・毎年大人気の川ガニ販売

岡方むら祭りスケジュール

- 7:30 祝花火打ち上げ (※開催の場合)
- 10:00 開場
- 11:00 実演あいさつ
- 【ふれあいイベント】10:00 開店 (岡方食の陣) 11:00 開店
- 【ステージイベント】
- 10:00~12:20 第1部
- 13:00~14:30 第2部
- 14:30 大抽選会
- 15:00 閉会

※小決行(悪天候の場合は、中止となる場合があります。ご容赦願います。)

主催 豊栄商工会岡方支部(TEL387-2264) 協賛 岡方地区コミュニティ委員会

今年度採用されたポスター

本校に依頼するまで商工会が作成していたポスター

研究内容②

課題への取組・発表を通して、「思考力、判断力、表現力等」を育成し、自己有用感を高める指導の工夫

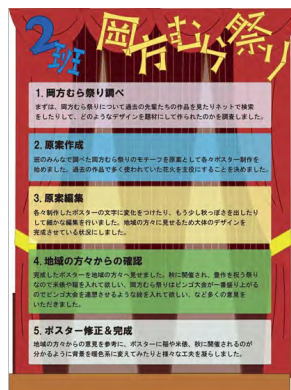
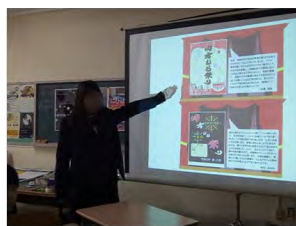
美術において育成すべき資質・能力を身に付け、課題の中で依頼者の視点に立って成果を上げることにより「思考力、判断力、表現力等」を育成し、自己有用感を高める授業づくり



- ・伝えたい内容をどのように伝えるかを考察し発表に備える。
 - ・伝達できた時の達成感・受け入れられたという満足感・安心感
 - ・地域の役に立った・人の役に立てたという実感
- 達成感を感じ自己有用感が高まる。

地域の方々に成果を発表する場を設け、商工会の担当者から直接評価の言葉を聞くことで、生徒は達成感を感じ自己有用感が高まった。

また成果の発表にあたり課題制作の振り返りを行うことで表現しようとした内容、伝えるための表現の工夫が明確になり発想や構想に関する資質・能力など、「思考力、判断力、表現力等」の向上を実感することができた。

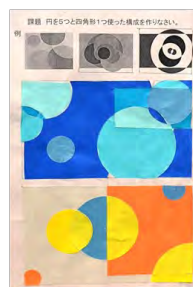
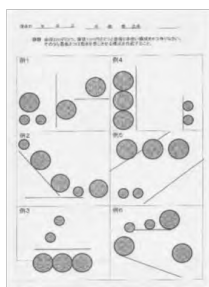


基盤は美術Ⅰ，Ⅱで学んだ内容にあり

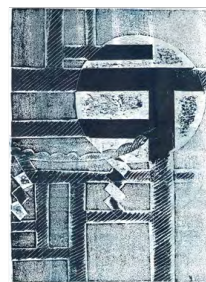
例 美Ⅰ 切り絵

美術Ⅰ，Ⅱで学んだ「知識・技能」を美術Ⅲで活用することにより、見通しをもった協働作業が行われるようになった。

その上で依頼者の要望を実現しようとして主体的に活動することによって思いや意図を実現するための柔軟な「思考力、判断力、表現力等」も向上した。



美Ⅱ Illustratorを使用した授業



美Ⅰ 紙版画



美Ⅰ 文化祭ポスター

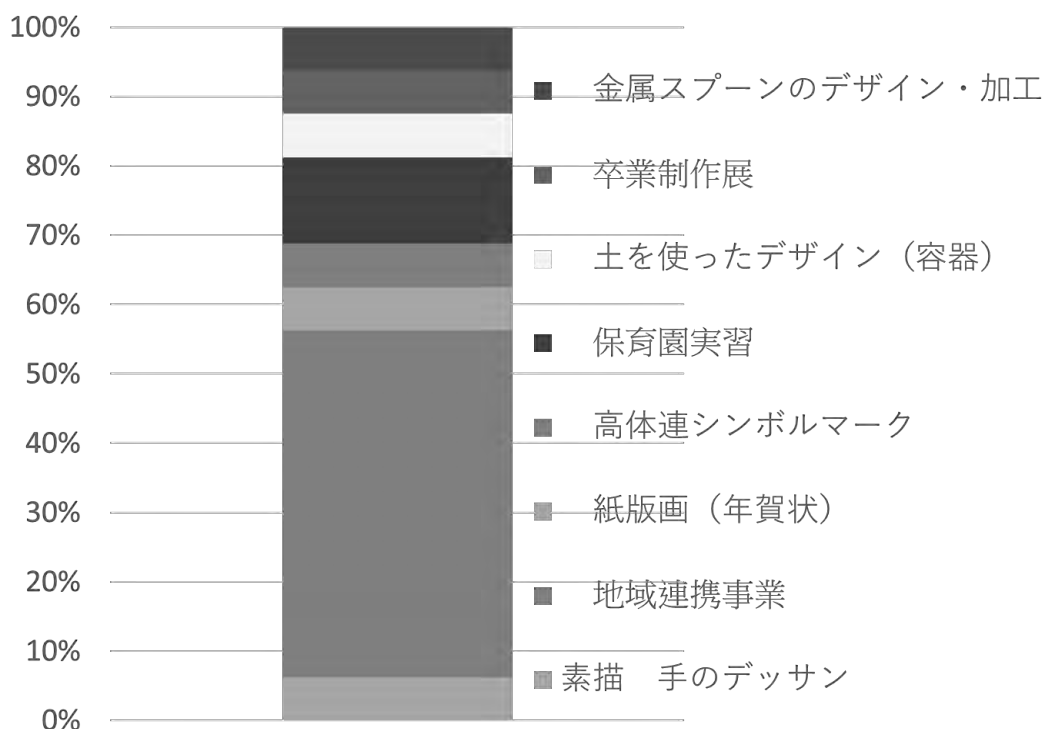
切り絵や版画で学んだ内容がIllustratorのパスファインダーやクリッピングマスクの概念につながる

アンケート

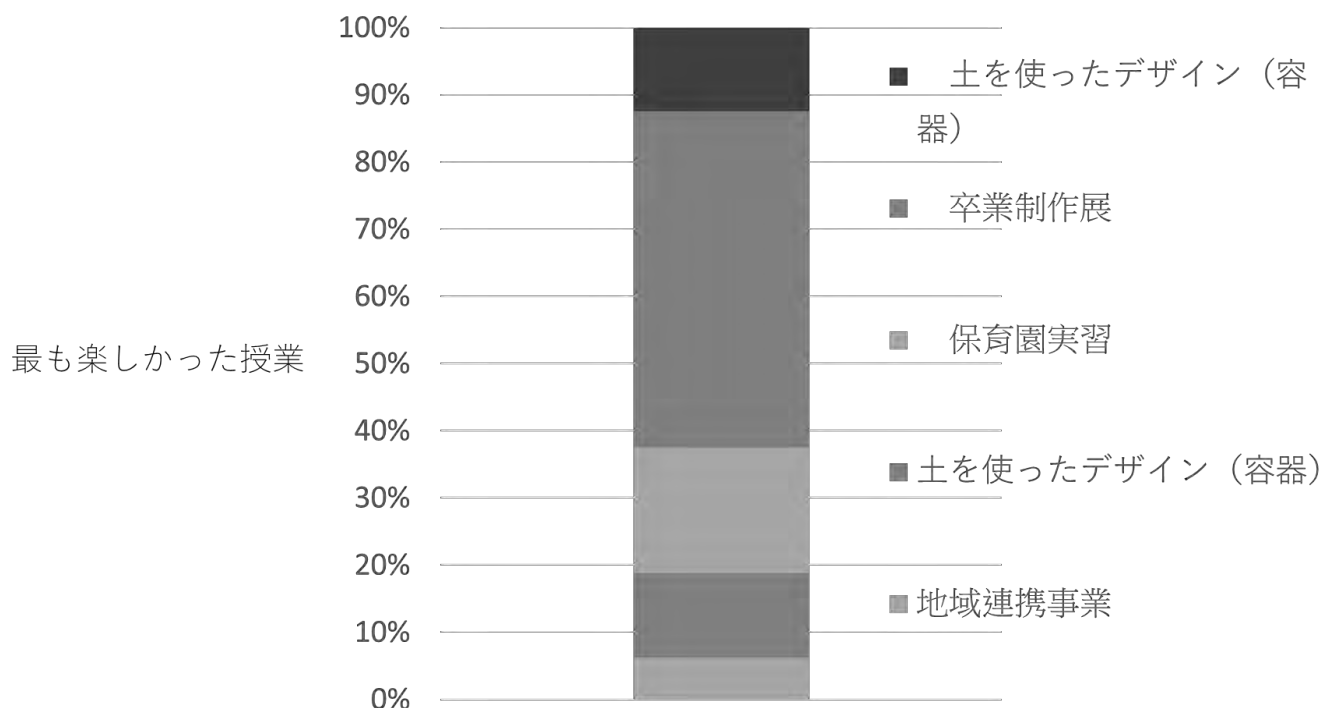
連携事業（地域イベントのポスター制作）の作業中、あなたが地域の人々の要望に答えようと努力・工夫した点について記入してください。

- ・依頼主が何を求めているのか常に考えることを努力しました。
- ・地域のポスターを見る方々の目線になって文字の大きさやフォント、配置や色合いを工夫して作った。
- ・豊作の祭りと一目見てわかるようなポスターを作れるよう努力しました。背景には稲を並べ田んぼをイメージできるようにデザインし、上下に赤色の囲みを追加し秋に開催される祭りだとわかるよう制作しました。
- ・軸となる雰囲気を意識したり、情報を並べていろいろ試したり、技術的にも挑戦した
- ・さまざまな人に見やすいように字の大きさや配色に気を付けた。
- ・工夫したところは、文字の大きさです。高齢者がいるので見やすいように工夫しました。
- ・ポスターをみたらすぐにどんなイベントかが分かるような絵を入れた。

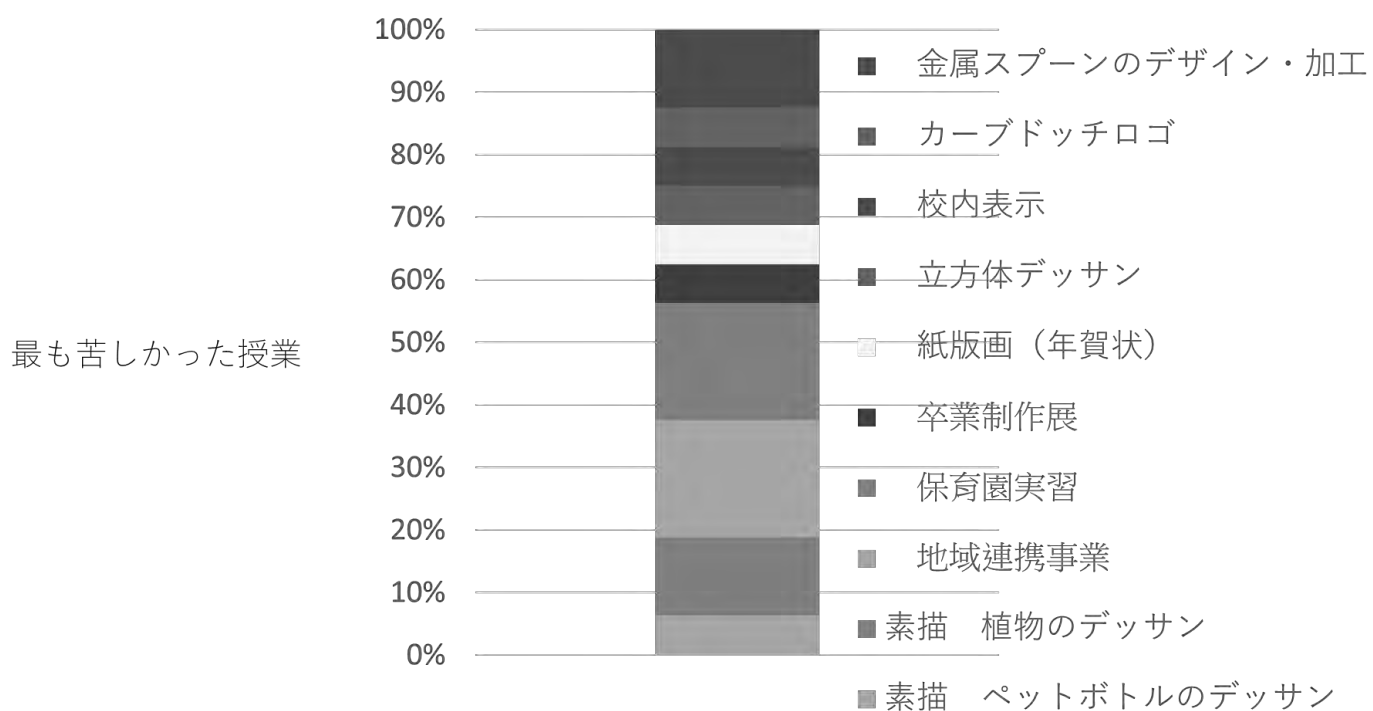
最も印象に残っている授業



多くの生徒が最も印象に残っている授業に地域連携事業をあげている



しかし地域連携事業が楽しかった訳ではないようだ。



地域連携事業は楽しかった授業より苦しかった授業にあげられる割合が高い。

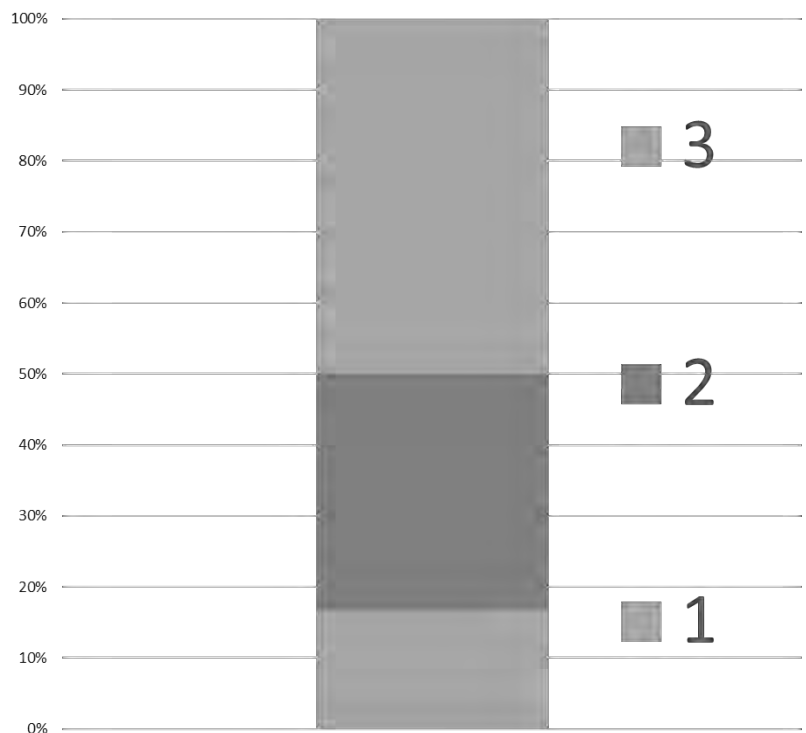
印象には残っているが大変だったということか。

ポスター・チラシの目的
（地域イベントの広報）
や条件（地域の人が求
める内容）を考えたうえ
で色、形、配置（ポス
ター内の全ての文字を含
む）などを工夫して表現
しようとしたか？

どのくらいできたか
1～3を選び自分を評価
してください。

例

良くできた→3
まあまあできた→2
あまりできなかった→1

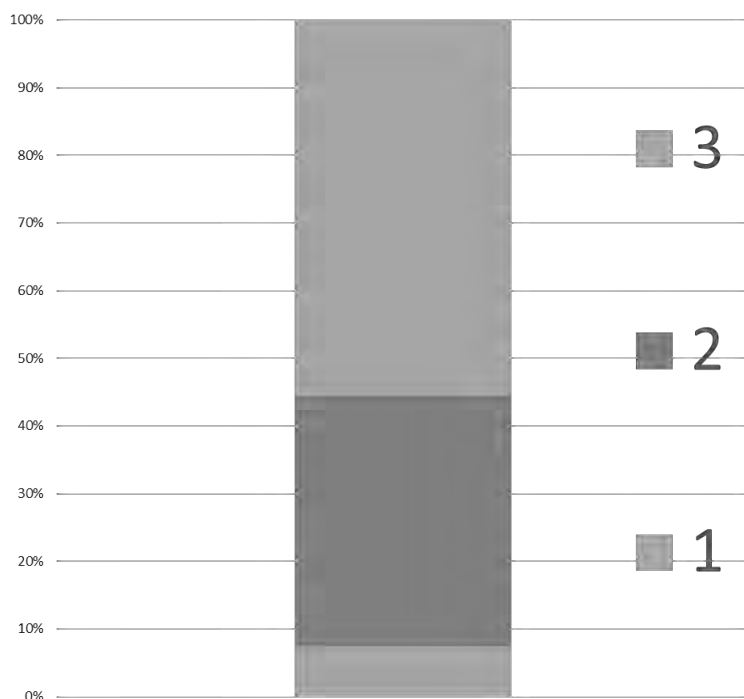


ポスターの社会的役割を
考えたうえでテーマ
（例 岡方むら祭り 収穫
の喜び・にぎわい等、鍋
の陣 暖かい鍋、駅前のに
ぎわいをとおして地域の
振興をはかる）などをイ
メージして表現しようと
しましたか？

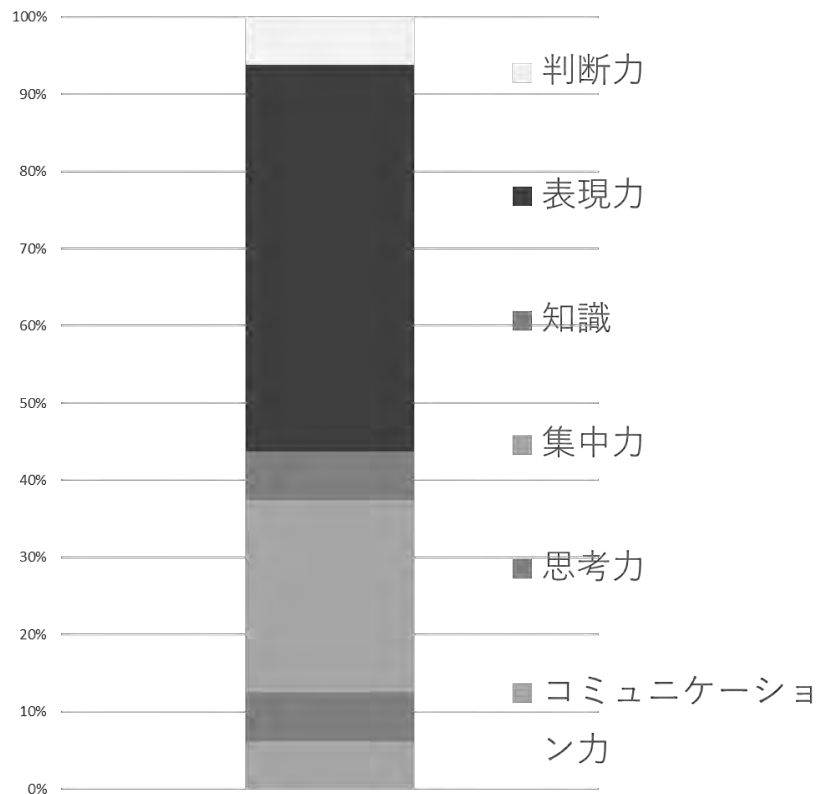
どのくらいできたか 1～
3を選び自分を評価して
ください。

例

良くできた→3
まあまあできた→2
あまりできなかった→1



美術の授業でどのような
力がついたと感じている
か。



アンケート

あなたが3年
間受けた美術
の授業で学ん
だことはなん
ですか？

- 地域連携事業で鍋の陣ポスターをグループで分かれ作成しました。班でポスターを作成し、協力することの大切さを学びました。
- デッサンやロゴを作ったことで創造力を、地域連携では人間性を学びました。
- 作品はただ制作するものではなく、自分の想いを表現するものだと感じたことです。
- 私は自分が作った作品で自分が納得出来ても、相手の方々にも納得してもらえ作品を作る事の大切さです。
- 地域連携事業などで、チームとして結束する大切さを学んだ。
- Adobeソフトやデザイン、美術に関すること。1年生と3年生では出来ることも見えるものも変わった
- 様々な分野の美術の授業を学びました。特に岡方むら祭りでのポスター作りでは、デザインを考えるだけでなく、そのデザインがほかの人にどう影響するのかを考えることを学びました。

令和元年～2年の研究結果

- ① 地域イベントの広報(ポスター制作)では、視線を効果的に集め必要な情報を届け、見た人がイベントに参加したくなるポスターを制作するという目的を達成するため、生徒はイベントの目的や条件を様々な検討して制作した。そのことにより依頼内容に応じて目的や条件、美しさなどを考え主題を生成することや、デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考えることができるようになり「思考力、判断力、表現力」等が向上した。

2年次から生徒の体制づくりを行ったことも相まって、生徒は目的達成のため、集団として良いパフォーマンスが出るよう人間関係を自ら調整し、自分の役割を果たそうと主体的・協働的に活動に取り組んだ。
- ② 商工会へのプレゼンテーションには一つの地域イベントに対して複数の作品を選択肢として提示する必要があったため、各班内で担当したイベントの目的や計画を基に主題に含まれる要素のバランスを複数考え、表現方法を追求した。それにより発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能や表現力が向上した。
- ③ 地域の方々に成果を発表する場を設け、地域の方から肯定的な評価をいただいた。また成果発表の場で商工会の担当者から直接評価を聞く場を設定したことで達成感が高まり、自己有用感が向上した。

令和元年～2年の研究課題

- ① 育成する資質能力の明確化や相互の関連、共通事項の取り扱いについて地域連携事業を通して取り組む学習の中での位置づけや学習内容との整合性を再度振り返り改善につなげる。
- ② アンケートを用いた評価について、スムーズに実施し適切な時期にフィードバックするためのインフラ整備、実施の時期や設問の内容や量には更なる検討・改善が必要である。
- ③ 地域からの依頼内容の確認や主題生成時に課題が見られた。手順の確認やチェックシート等を活用して改善につなげたい。

謝辞

本研究を遂行するにあたり，協力いただいた全ての関係者の方々に深く感謝申し上げます。